

ガザ：これは戦争ではない

言語は決して中立ではありません。私たちが使う言葉は、世界が見るものや、許容するものを形作ります。イスラエルのガザでの進行中のキャンペーンを「戦争」と呼ぶことは、一方的な絶滅キャンペーンを正当な紛争として偽装することです。あらゆる法的・道徳的基準に基づいて、そこで起きていることは戦争ではなく、**包囲された民間人に対する一連の戦争犯罪**であり、ジェノサイドという犯罪に至っています。

戦争は戦闘員同士で行われ、交戦規則に則り、国際人道法の対象となります。しかし、ガザにはイスラエルの圧倒的な力に対抗する軍隊がありません。2007年以来の包囲下で、そして2023年以降の壊滅的なエスカレーションとともに展開しているのは、世界で最も先進的な武器を用いた、人民の生存能力の体系的破壊です。

このエッセイでは、ガザが戦争と呼べない理由を以下のように示します：まず、戦争と戦闘員の定義を明確にすること、次に、ガザに与えられた壊滅の規模を記録すること、第三に、イスラエルの軍事力の膨大な不均衡とその外部補給を暴露すること、第四に、包囲を絶滅の武器として分析すること、第五に、**ジェノサイド条約**を適用すること、そして最後に、残虐行為に直面した言語そのものの重要性を強調することです。

1. 戦争とは何か？

ジュネーブ条約および慣習国際法は、戦争を組織された戦闘員間の武力紛争と定義しています。**戦闘員**とは、合法的に戦う権利を持つ者であり、通常は国家の軍隊のメンバーや、責任ある指揮系統下にある組織された武装グループを指します。戦闘員は戦闘で標的にされる可能性があります、捕虜として捕らえられた場合には保護を受ける権利があります。一方、民間人は決して直接標的にされてはなりません。

この区別は学術的なものではなく、戦争法の基盤です。

ガザはこの基準を満たしていません。常備軍、海軍、空軍はありません。抵抗グループは存在しますが、それらは断片的で、装備が貧弱であり、イスラエルの比類なき軍事力に比べれば矮小です。殺された人々の圧倒的多数は民間人です。したがって、これを戦争と呼ぶのは根本的な誤りです。戦争の枠組みは戦闘員の対等性を前提としていますが、ガザでは**世界で最も先進的な軍隊の一つが、非武装で包囲された人口を攻撃している**のです。

2. ガザの壊滅

民間人の死傷者

2025年9月時点で：

- **保健省の公式発表**では、**63,600人以上の死者**が記録されており、その大多数が女性と子どもです。
- 2025年8月に漏洩した**イスラエルの諜報データ**によると、**死者の83%が民間人**であり、IDF自身の基準でもそうです。
- 専門家は、**実際の死者数は公式発表の3～15倍**に達する可能性があるとは推定しています。
- 少なくとも**50万人が負傷**し、特に子どもたちの多くが人生を変えるような切断を経験しています。

住宅と避難

2025年半ばまでに、ガザの**92%の住宅**が損傷または破壊され、ほぼ全人口が避難民となっています。家族は瓦礫の中でタープやテントの下で生き延びています。ガザ市やハンユニスなどの都市は荒地と化しました。

水と衛生

- **6つの下水処理施設すべて**が破壊されました。未処理の下水が地中海に直接流れ込み、生態学的および健康上の大惨事を引き起こしています。
- **脱塩施設の85%**が破壊されるか、電力と燃料の不足で機能していません。家族は1人1日あたり**3リットル未満の安全でない水**を受け取っており、人道的な生存に必要な最低限を大幅に下回っています。
- 水を介した病気の流行が、特に子どもの間で広まっています。

食料と農業

- **農地、果樹園、温室の80%以上**が破壊されました。
- ガザ北部では飢饉状態が存在します。救援物資の輸送車は繰り返し阻止または攻撃されています。
- 飢餓は武器として使用されています。病院や難民キャンプで飢餓で死にゆく子どもたちの映像は、グローバルな良心を悩ませています。

医療

- 病院は体系的に攻撃されています。存在していた36の病院のうち、部分的に機能しているのは10～15のみです。
- **産科病棟が破壊**され、手術には麻酔がなく、痛み止めなしで切断が行われ、透析やがん治療のための物資もありません。
- 1,000人以上の**医師、看護師、救急隊員、救急車の運転手が殺害**され、ガザは医療従事者にとって世界で最も危険な場所となっています。

教育と次世代

- 学校、大学、国連の避難所が爆撃されました。

- ガザの子どもたち一人人口の半分以上は家や家族だけでなく、教育と将来への希望も失いました。

その累積的影響は、**社会全体の存続能力の解体**です。

3. イスラエルの圧倒的な軍事力

人員

イスラエルは人口に対する世界最大かつ最も洗練された軍隊の一つを維持しています：

- **17万人の現役兵、46万5千人の予備役、および3万5千人の準軍事要員**—合計で約**67万人**の兵士が動員可能です。

空軍

- **F-35I「アディール」ステルス戦闘機45機**、これまで製造された中で最も先進的な航空機の一部です。
- **F-16 174機**および**F-15 66機**、精密攻撃と空中優勢の両方が可能です。
- 偵察機、空中給油機、長距離任務用のAWACS。
- 広範なドローン艦隊（ヘロン、ヘルメス、エイタン）、監視および精密攻撃に使用されます。

地上部隊

- 数百の**メルカバ主力戦車**（マーク3および4）。
- ナメルやアフザリットを含む数千の装甲兵員輸送車。
- 精密砲兵、ロケットランチャー、都市破壊用の装甲工兵車両。

海軍および核抑止力

- ドイツ製の**ドルフィン級潜水艦**、核弾頭搭載可能な巡航ミサイルを装備しているとされ、イスラエルに二次攻撃能力を提供します。
- コルベット、ミサイル艇、支援艦を備えた近代的な海軍。

核兵器庫

- イスラエルは曖昧な政策を維持していますが、**80～200発の核弾頭**を保有していると広く考えられており、航空機、弾道ミサイル、潜水艦で運搬可能です。
- これにより、イスラエルは中東唯一の核保有国となります。

外部補給

- **アメリカ合衆国**は年間数十億の軍事援助、継続的な弾薬輸送、先進的な航空機を提供しています。

- ドイツは潜水艦、軍艦、車両エンジン、精密弾薬を供給し、しばしば費用を補助しています。
- 2025年6月には、**米国とドイツからの14機の貨物機**が新たな軍事補給を届けました。

この無敵の兵器庫に対して、ガザには戦車、ジェット、海軍、核抑止力はありません。非対称性は絶対的です。

4. 絶滅の武器としての包囲

2007年以来、ガザは包囲下にあります一史上最も長い包囲です。2023年10月以降、これは完全な封鎖に強化されました。

- 病院のための電力はありません。
- 食料と医薬品が国境で差し止められています。
- 燃料と再建資材が禁止されています。
- 人道支援の輸送車が妨害または攻撃されています。

従来の包囲は敵軍の降伏を強制することを目的としています。ガザの包囲は民間人の生活を破壊することを目的としています。

5. 戦争ではなくジェノサイド

1948年のジェノサイド条約は、ジェノサイドを国家、民族、人種、または宗教的グループを全部または一部破壊する意図を持って行われる行為と定義しています。これには以下が含まれます：

1. **グループのメンバーの殺害** – 数万人のパレスチナ人、主に女性と子どもが殺害されました。
2. **重大な身体的または精神的危害の引き起こし** – 大規模な切断、トラウマ、飢餓、未治療の疾患。
3. **破壊を意図した生活条件の強制** – 住宅、農場、水、医療、避難所の破壊。
4. **出産を阻止する措置の強制** – 飢餓、医療の崩壊、分娩ケアの破壊が繁殖を妨げます。
5. **子どもの強制移送** – テレオロギー的に、子どもたちを集団墓地に送ることは次世代の抹消を達成します。

これは推測ではありません。**国際ジェノサイド研究者協会 (IAGS)**、**アムネスティ・インターナショナル**、**国境なき医師団**、そしてイスラエルの人権団体である**B'Tselem**は、すべてイスラエルのガザでの行動をジェノサイドと宣言しています。

6. 言語が重要な理由

これを戦争と呼ぶことは不正確だけでなく、共犯です。戦争は、交戦規則の下で戦う両者の存在を意味します。しかし、ガザは戦場ではありません。それは武装した男が非武装の子どもを攻撃するようなものです。誰もそれを「戦い」とは呼びません。

ガザを戦争と呼び続けることは、残虐行為を浄化し、ジェノサイドを正常化し、犠牲者を裏切ることです。

結論

イスラエルのガザでの行動は戦争ではありません。それは**包囲された民間人に対する一連の戦争犯罪**であり、世界で最も先進的な軍隊の一つによって支えられ、**союзники**によって継続的に補給されています。このキャンペーンはジェノサイドの法的定義を満たし、戦争の合理的な理解を超越しています。

これは戦争ではありません。それはジェノサイド—絶滅戦争です。

参考文献

- 国際ジェノサイド研究者協会、**ガザに関する決議**、2025年
- アムネスティ・インターナショナル、国境なき医師団、B'Tselem – ジェノサイドに関する声明
- ガザ保健省、UN OCHA – 公式な死傷者更新
- イスラエル軍の民間人死亡データ
- **Lancet**によるガザの死亡に関する研究
- UN OCHA、**人道状況更新**
- 国際救援委員会、**ガザ危機の事実**
- グローバル・ファイアパワー、**イスラエルの軍事力**
- イスラエル空軍の装備
- イスラエルの核兵器庫
- ミドルイースト・モニター、**米国およびドイツの武器輸送**